



成東・東金食虫植物群落 国の天然記念物指定百年を迎えました！

成東・東金食虫植物群落は、JR総武本線成東駅から南東約2km、作田川に沿う山武市島・東金市上武射田にまたがった約32,000平方メートルの低湿地帯に位置し、現在は450種類以上の植物が自生する希少な場所となっています。

この群落は、大正9(1920)年7月17日に、多種・多様な植物が生育する希少な場所として、全国で最初に国の天然記念物に指定され、今年是指定百年を迎える記念すべき年です。

この群落は、食虫植物やさまざまな種類の湿性植物の他、28科56種の鳥類、野ウサギやタヌキなどの哺乳類、両生類、昆虫類など多くの生物が暮らすビオトープ(生物生息空間)であり、ほぼ指定当時の環境や景観が、先人たちの努力により守られてきましたが、その道のりは決して平たんなものではありませんでした。

現在、歴史民俗資料館において、過去の取り組みを振り返るとともに、今後この群落とどのように向き合っていくべきなのか、皆さまに考えていただくことを目的とした企画展を開催しています。

皆さまのご来館をお待ちしております。



! 成東・東金食虫植物群落は、1カ所の湿原で、8種類の食虫植物が自生している、本州唯一の場所です！
自生している食虫植物は、葉に粘毛を備えて虫を捕らえるモウセンゴケ、コモウセンゴケ、シロバナナガバノイシモチソウや砂泥中の地中部に捕虫嚢を備えて虫を捕らえるミミカキグサ、ムラサキミミカキグサ、茎や葉に捕虫袋をつけ微小虫を捕らえるタヌキモなどです。

令和2年度企画展 食虫植物群落保存 百年の道のり ～成東・東金食虫植物群落・国天然記念物指定百年～

歴史民俗資料館では、「食虫植物群落保存 百年の道のり ～成東・東金食虫植物群落・国天然記念物指定百年～」企画展を開催しています。

場所 山武市歴史民俗資料館

日時 6月2日(火)～11月15日(日) 9時～16時30分

(第Ⅰ期 指定前夜～指定後の動向と環境変化)

12月1日(火)～翌年5月30日(日) 9時～16時30分

(第Ⅱ期 圃場整備による消滅の危機～積極的な保護体制の確立)

問い合わせ先 歴史民俗資料館 ☎0475(82)2842



イシモチソウ(花)



イシモチソウ(捕虫の様子)



コモウセンゴケ(花)



シロバナナガバノイシモチソウ(花)



モウセンゴケ



山武市教育委員会
ホームページ
QRコード

学校の新型コロナウイルス感染症拡大防止対応

市内の小中学校は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月2日から臨時休校となっていました。5月25日の緊急事態宣言の解除を受けて、6月1日より学校を再開しました。

～学校再開に向けて～

5月中は、課題の配付及び提出や児童生徒の安否確認を目的とした分散登校を、週1回程度実施しました。各学校の実情に合わせて、学年ごと・学級ごと・地域ごとに登校日や登校方法を設定し、感染に注意しながらの登校となりました。

また、小学校では学童クラブが始まる時間帯までの児童の預かりを5月末まで継続して実施し、1日あたり、全児童数の5%程度にあたる100人前後が利用しました。

5月の最終週には、各学校で全校登校日を設定し、全児童生徒が登校した場合の過ごし方や学校職員の受け入れ体制などを確認し、6月1日の学校再開に備えました。



間隔を開けて登校（松尾小）



合同学級活動（成東中 体育館）

～学校再開～

6月1日は、小中学校ともに全児童生徒がそろそろ3カ月ぶりの学校再開となりました。初日は午前中だけの活動でしたが、入学式を4月に実施^(※1)したので、多くの学校で2日からは給食ありの通常日課^(※2)となり、令和2年度の学校生活をスタートさせました。

※1 小学校1年生、中学校1年生が入学していた方が、新入生の不安を解消できると考え、新入生だけの入学式を当初の予定通り4月に実施しました。

※2 小学校の一部の学校では、1年生の給食開始を遅らせた学校もあります。

市教育委員会では、全児童生徒や学校職員へのマスク配付や学校職員用のフェイスシールドの配付等を行っております。各学校では新型コロナウイルス感染症拡大防止対策が取られ、児童生徒が安心して学校生活が送れるよう配慮されています。



三密を避けた手洗い場（睦岡小）



できるだけ間隔をとって（鳴浜小）



自作のフェイスシールド（睦岡小）



給食配膳に奮闘する先生方（大平小）

今年も楽器や教材費が寄贈されました！

一般財団法人 藤本育英会から、教育支援活動の一環として、市内の中学校全5校に対し総額107万円相当の楽器や教材費等の寄贈がありました。市の教育に有効活用させていただきます。（4月26日 目録寄贈）



音響器具



ソプラノサクソ



メトロノーム



CD



書籍

しつけと称しての体罰は虐待です！

令和2年4月1日から、児童福祉法・児童虐待防止法改正により、しつけと称しての体罰は虐待になります。児童虐待には、「身体的虐待」「性的虐待」「ネグレクト」「心理的虐待」があります。このような虐待を受けたと思われる児童（18歳未満）を発見したら、山武市家庭児童相談室までご連絡ください。

なお、ご連絡いただいた方の秘密は守られます。休日、夜間については、警察110番、または児童相談所189番（イチハヤク）までご連絡ください。

これはしつけではありません！

●児童虐待とは・・・？

身体的虐待

殴る、蹴る、たたく、投げ落とす
激しく揺さぶる
やけどを負わす
溺れさせる など

性的虐待

子どもへの性的行為
性的行為を見せる
ポルノグラフィの被写体にする
など

ネグレクト

家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れていかない など

心理的虐待

言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの前で家族に対して暴力をふるう（DV） など

- ・言葉で3回注意したが言うことを聞かなかったので、頬を叩く。
- ・宿題をしないので、夕食を与えない。
- ・掃除をしないので、雑巾を顔に押し付ける。
- ・大切なものにいたずらしたので、長時間正座をさせる。
- ・他人の物をとったので、お尻を叩く。
- ・友達を殴ってケガをさせたので、同じように子どもを殴る。

- 児童虐待の通告は義務です。（児童虐待の防止等に関する法律 第6条）

※通告は、電話のほか、書面、対面でも結構です。

- 通告の義務は守秘義務に優先します。（児童虐待の防止等に関する法律 第6条）



問い合わせ先（市の相談窓口）

山武市家庭児童相談室 ☎0475（80）2634

相談日 月～金曜日（祝・休日を除く。）／相談時間 午前9時～午後5時

いじめ防止啓発授業 SOSの出し方教育授業

市内の全小中学校において、6～7月にかけて、「いじめ防止啓発授業」と「SOSの出し方教育授業」を行いました。

併せて、中学校1年生を対象に、STOP i tから講師を招き、動画を見ながらいじめの対応について考える授業と、SNSを活用したいじめ通報アプリ「STOP i t」の導入を行いました。

「STOP i t」は市内全中学生が利用することができます。

「STOP i t」をインストールすると、スマートフォンに限らず、情報端末であればほとんどの機種から「STOP i t」にアクセスし、いじめや悩み事の相談をすることができます。一人で悩むことなく「STOP i t」を使ってみてください。



（いじめ防止啓発授業の様子 6月26日 成東東中1年生）



英語教育推進事業 ～英語力アップ講座～

市では、グローバル人材を育成するため、今年も市内全中学生を対象に「英語力アップ講座」を実施しました。これは、10月に実施される英検に向けての集中講座となりました。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第1回検定の受験（6月）は中止となりましたが、第2回検定（10月）及び第3回検定（1月）に向けても、「英語力アップ講座」を開催する予定です。



（英語力アップ講座の様子 8月6日 山武中）

伊藤左千夫が暮らした頃の生家主屋の姿を再現 —千葉県指定史跡・伊藤左千夫生家—

日本の近代文学に大きな足跡を残した伊藤左千夫。彼が生まれて20歳頃まで暮らした生家が、山武市殿台392番地に現存しています。

伊藤家は、江戸時代殿台村の組頭（村役人のナンバー2）の家柄でした。生家の主屋は、その家柄に相応しい規模・構造で、屋根は昔ながらの茅葺です。茅葺の主屋は、人が暮らすことにより、かまどや囲炉裏の炊事の煙・熱気により屋根裏が燻され、害虫の被害を防ぐとともに、雨などで湿った材を乾燥させることができました。このため、屋根材を撤去して新しいものに替える葺き替え作業は1世代に1回（約30年）と言われています。

この生家には、昭和31年まで、左千夫の甥・芬が暮らしていましたが、その後、国鉄成東駅の官舎として一時期使用されましたが、それ以降人が住むことはありませんでした。このため屋根が傷みやすくなり、10～20年に1度のペースで葺き替えを行い、その姿を維持しています。最近では、平成30年度～令和元年度の2カ年に分け、茅の刈り入れ時期や工期を考慮して、晩秋から春に全層葺き替え工事を実施し、左千夫が暮らしていた頃の生家の姿を再現しています。

伊藤左千夫生家は、歴史民俗資料館の隣にあり、市内にお住まいの方は歴史民俗資料館と併せて、無料で見学できます。

皆さまのご来館をお待ちしております。



屋根改修工事が完了した生家主屋



茅の間に竹管を2段差し入れる
独特な意匠の屋根

第69回左千夫短歌大会作品募集

令和3年1月31日(日)に開催する、第69回左千夫短歌大会では短歌の募集をしています。投稿受付開始は9月1日(火)、締切は小学生10月2日(金)、一般・中高生は10月16日(金)となります。

今年の選者は月刊紙「未来」選者・編集委員の池田はるみ先生にお願いしています。

たくさんのご応募をお待ちしております。

問い合わせ先 歴史民俗資料館 ☎0475(82)2842

令和2年度山武市民体育祭中止のお知らせ

令和2年10月11日(日)に開催を予定していました山武市民体育祭は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民の皆さまの健康と安全の確保を考慮し、中止となりました。

問い合わせ先 スポーツ振興課 ☎0475(80)1461



日向小学校・山武西小学校の 学校統合について

令和3年4月の開校に向けて「日向小学校・山武西小学校統合準備委員会」を設置し、新校を円滑に開校するため、保護者、学校職員、地域の代表者などで協議をしています。

新校歌と新校章を作成するため、児童と保護者を対象として校歌に使うほしいフレーズと校章のデザイン案を募集しました。今後は募集結果を参考にして協議を進めていきます。

また、7月21日に学校運営部会が開催されました。議題として、令和3年度の教育課程や教室配置等について協議されました。

蓮沼中学校・松尾中学校の 学校統合について

令和4年4月の新校開校に向けて、第1回統合準備委員会全体会議が8月3日に開催され、蓮沼中学校・松尾中学校統合準備委員会が設置されました。全体会議では委員の方々に委嘱状が交付されました。

今後、統合準備委員会では、「新たな出会いで未来を拓き 創造的な教育活動」が行えるよう、開校に向けた取り組みを続けていきます。地域の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

(新) 日向小学校 (旧山武南中学校校舎)

校舎が生まれ変わります

松尾小学校 (旧松尾小学校校舎)



令和3年4月に「日向・山武西統合小学校」として開校する日向小学校が使用する旧山武南中学校を改修します。

校舎及びグラウンド等工事の工期は、令和3年2月26日までです。

主な工事内容は、小学校の仕様に合わせた改修や安全対策、またトイレ、LED照明の他、校舎外壁改修と駐車場の整備、遊具の設置となります。

校舎の老朽化に伴い、旧校舎を解体し新校舎を建設しています。

令和4年7月に校舎の完成、令和5年3月には、外構等全ての工事が完了するよう工事を進めていきます。



両校を含め、学校における工事については、子どもたちへの授業の妨げや、近隣の方々へご迷惑をかけないようさまざまな点に配慮しながら施工していきます。ご理解くださいますようお願いいたします。

問い合わせ先 教育総務課 ☎0475(80)1432